

地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業の概要（案）

1 趣旨目的

地域医療構想の実現に向けた取り組みを推進するため、当該事業により幅広く地域課題などの現状把握や地域の医療需要の推移、医療資源等に関してデータ分析を行い、地域医療の課題の抽出を図る。

2 データ分析の体制

- 診療に関する学識経験者（京都大学・京都府立医科大学）
- 医療関係団体（京都府医師会・京都府病院協会・京都私立病院協会）
- 地域医療構想アドバイザー

3 分析内容

- 利用データ
医療保険レセプト、介護保険レセプト、健診データ、DPC データなど
- 分析内容
 - ・ 2025～2040 年に向けた医療需要を医療必要度や将来人口推計に基づき推計
 - ・ 二次医療圏ごとの医師数・看護師数の現状と推計
 - ・ ロジックモデルに沿った 5 疾病 6 事業及び在宅医療の現状を地域別指標として算出 等

4 スケジュール

- 令和 5 年 4 月 厚労省から採択結果通知
- 令和 5 年 6 月～ 事業内容にかかる関係者協議、データ分析開始
- 令和 5 年 11 月～ 分析結果に基づく考察
- 令和 6 年 1 月～ 地域医療構想調整会議での結果の提示